

8 安全・安心と教育環境

具体的な内容		自己評価A	関係者評価	関係者評価委員(学校評議員)のコメント	
児童の安全確保に取り組み、施設・設備等の教育環境が適切に整備活用されている。	前期	良好	良好	クマ出没に係る避難訓練やクマ対策の講話の実施など、時事に合わせた対応が行われており、よい。引き続き、子どもの命に関わる事案への指導や対応を万全にしてほしい。	
	年度	良好			
評価指標	実践課題		主な取組	自己評価B	
(16)安全教育和安全管理	⑯事件・事故の回避能力の向上と緊急時の対応力の育成		・避難訓練 関係機関との連携 緊急連絡体制 交通安全対策	前期	3
	⑰校舎内外の安全確保		・危機管理マニュアル 通学路危険箇所点検 安全点検	年度	4

学校の改善策

【前期(一年度)】

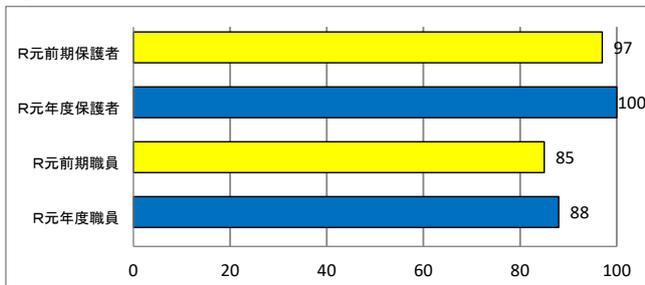
・今年度実施した2回の避難訓練の課題点を生かし、9月には児童が自ら判断し行動するための避難訓練を実施し、安全意識を高める。
・校内外の老朽化に伴う問題点は多々あるが、日々の点検を綿密に実施しながら安全確保を図っていくとともに、教職員の安全管理意識の高揚も図っていく。

【年度(一次年度)】

・今年度実施した3回の避難訓練の課題点を生かしていきたい。特に児童が自ら判断し行動できるよう、職員間で避難訓練の目的やねらいを明確にしていく。
・校内外の老朽化に伴う問題点は多々あるが、主査や用務員と連携を取りながら日々の点検を綿密に実施し安全確保を図っていくとともに、教職員の安全管理意識の高揚も図っていく。

<(16)に関するデータ>

⑯事件・事故の回避能力の向上と緊急時の対応力の育成



* 避難訓練実施

- ・5月火災想定:教師誘導・事前予告あり・授業時間・鹿角消防署員の指導
- ・7月不審者想定:教師誘導・事前予告なし・授業時間・鹿角警察署員の指導(不審者に対する職員の訓練も実施)
- ・9月熊出没想定:教師不在・事前予告なし・昼休み・鹿角市農林課職員に

(保護者アンケート記述より)

- ・通学での熊、車、不審者がとても心配である。
- ・自分でも下校時には危なくないよう、家が多くあるところを通って帰宅するようにしており、自分の命は自分で守るということを心がけているようだ。
- ・登下校の際、熊や土砂崩れ、いろいろな面で心配な箇所がある。
- ・冬季、学校前の坂道が危ない。送迎車はもちろん、子どもたちが朝や夕方に

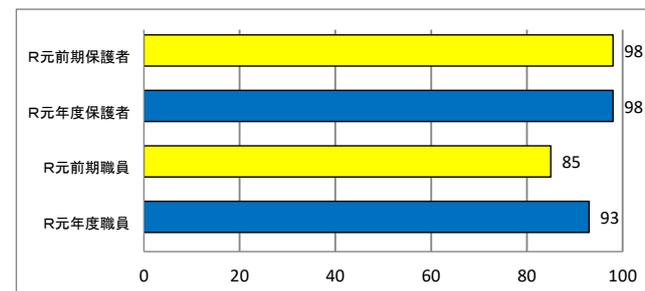
不審者対応や火災対応など、警察署や消防署の協力を得ながら、避難訓練を行い、よい評価をいただいた。また、今年度は地域の実態を踏まえてクマ対策の避難訓練を実施するとともに、専門家による講話をうかがう機会を設定できた。日々の安全指導に加え、毎年異なる、多彩なパターンでの避難訓練を実施することで、最終的には、場所や時間帯等、様々な状況を想定しながら「自分の命は自分で守る」ということを心がけさせ、自分で考えて行動する力を付けさせたい。なお、今年度は、地区ごとに安全マップを作成することで、危険箇所の確認をするとともに、安全意識の啓発に努めた。次年度も事件・事故の回避能力と緊急時の対応力を高める。登校時における学校前の坂道に関しては、融雪剤の効果的な使用と職員による見守り及びアドバイスにより、転倒防止に努めていきたい。



農林課主査によるクマに関する講話より

安全マップづくりより

⑰校舎内外の安全確保



- * 日常の自主点検・・・避難通路、電気系統、火気設備等6項目
- * 日々の安全点検・・・学校安全日(毎月初日)の一斉点検38か所
- * 緊急メール配信・・・不審者やクマ出没、悪天候、宿泊行事の帰宅予定等 * その他・・・スキー記録会の中止

(保護者アンケート記述より)

- ・緊急メールは、素早く必要な情報を送ってもらえるので助かっている。

よい評価をいただいている。古い校舎ではあるが、今後も、破損、瑕疵、不具合等が発見された場合には、教育委員会と連絡を取りながら、速やかに対処していきたい。緊急時の連絡体制については、メールを中心としながらも必要に応じて電話連絡なども行ってきた。ただし、緊急性が高い場合には、電話、もしくは直接の対応になることを引き続きご理解いただきながら、あと1年間、現状の対応でお願いしていく。また、想定外の大震災の場合などには、保護者の迎えがあるまで学校で児童を待機させることを想定しているが、再度、周知・徹底していきたい。

自己評価A及び外部評価の評価区分
○ きわめて良好
○ 良好
○ おおむね良好
○ やや不十分
○ 努力を要する

自己評価Bの評価基準	
5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対して91%以上達成・前年度比108%以上
4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対して80~90%達成・前年度比103~107%
3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対して60~79%達成・前年度比98~102%
2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対して50~59%達成・前年度比93~97%
1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対して49%以下の達成・前年度比92%以下